

国土交通省資料

令和7年3月21日

国土交通省 上下水道審議官グループ

1. 目的

令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した下水道管の破損に起因すると思われる道路陥没事故を踏まえ、今後、下水道等の劣化の進行が予測される中、同種・類似の事故の発生を未然に防ぐため、大規模な下水道の点検手法の見直しをはじめ、大規模な道路陥没を引き起こす恐れのある地下管路の施設管理のあり方などを専門的見地から検討する

2. 主な検討対象

下水道など大規模な道路陥没を引き起こす恐れのある地下管路

3. 主な検討項目

- 1) 重点的に点検を行う対象や頻度、技術など点検のあり方
- 2) 道路管理者をはじめとする他の管理者とのリスク情報の共有等のあり方
- 3) 事故発生時の対応
- 4) 今後の施設の維持更新や再構築とそれらを支える制度のあり方

4. スケジュール(案)

- 2月21日 第一回委員会
- 3月 3日 第二回委員会
- 3月11日 第三回委員会
- 春頃 中間とりまとめ
- 夏頃 最終とりまとめ



第一回委員会(2/21)

【参考】委員名簿(2025年3月時点)

	氏名	役職
委員長	家田 仁	政策研究大学院大学 特別教授
委員	秋葉 正一	日本大学 生産工学部 土木工学科 教授
委員	足立 泰美	甲南大学 経済学部 教授
委員	砂金 伸治	東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 教授
委員	岡久 宏史	公益社団法人 日本下水道協会 理事長
委員	北田 健夫	埼玉県 下水道事業管理者
委員	桑野 玲子	東京大学 生産技術研究所 教授
委員	佐々木 健	東京都 下水道局長
委員	三宮 武	国土技術政策総合研究所 上下水道研究部長
委員	長谷川 健司	公益社団法人 日本下水道管路管理業協会 会長
委員	宮武 裕昭	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ長
委員	森田 弘昭	日本大学 生産工学部 教授

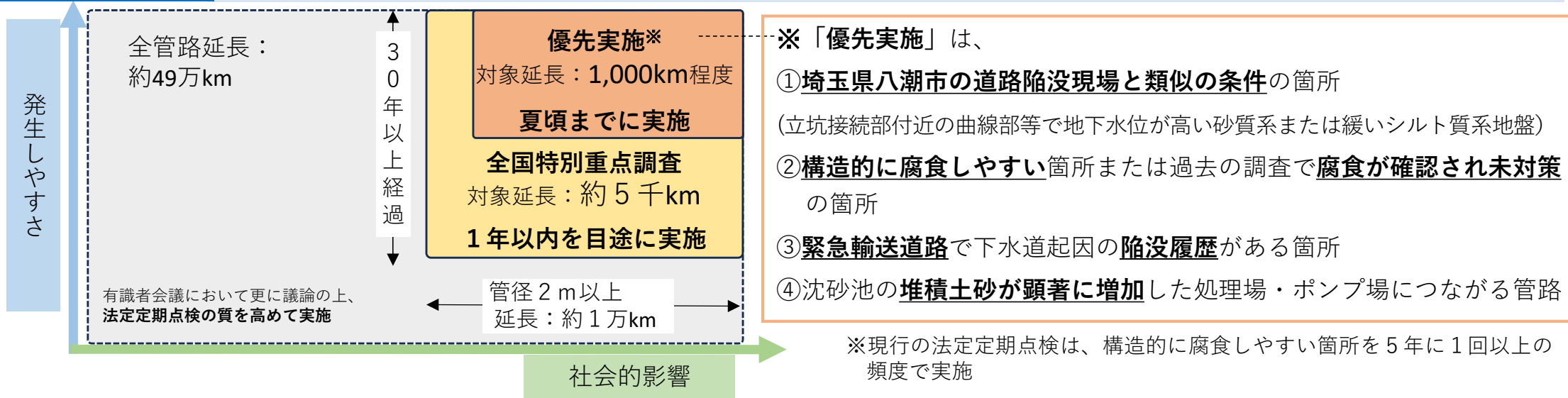
(委員長以外50音順、敬称略)

<オブザーバー>
総務省、農林水産省、経済産業省

5. 事務局 上下水道審議官グループ、大臣官房技術調査課、総合政策局、道路局

下水道管路の全国特別重点調査の概要

1. 調査対象： 調査に際し、社会的影響が大きく、大規模陥没が発生しやすい管路から、優先度をつけて実施



2. 調査方法の高度化： 調査対象の全路線の管路内をデジタル技術も活用して調査を実施

○管路内調査：潜行目視またはドローン・テレビカメラ等による調査

※優先実施箇所では、緊急度がⅠ、Ⅱに至らなくても打音調査等により詳細調査を実施

○空洞調査：緊急度がⅠ、Ⅱと判定された箇所は、路面下空洞調査または簡易な貫入試験・管路内から空洞調査

3. 判定基準の強化： 全国特別重点調査による緊急度の判定基準を現行より強化して、広く対策を実施

⇒腐食、たるみ、破損をそれぞれ診断し、劣化の進行順にAからCにランク付けした上で特別な判定基準で対策を確実に実施

緊急度	現行の判定基準	強化	全国特別重点調査の判定基準	緊急度に応じた対策内容
Ⅰ	ランクAが2項目以上	強化	ランクAが1項目以上	速やかな対策を実施※
Ⅱ	ランクAが1項目もしくは ランクBが2項目以上		ランクBが1項目以上	応急措置を実施した上で、 5年以内に対策を実施

※原則1年以内

国土交通省関係 予備費使用概要 (3月18日閣議決定)

令和6年度予備費使用については、

○令和6年12月以降の大雪に伴う国及び地方公共団体が施行する道路の除雪事業に要する経費


○埼玉県八潮市での道路陥没事故を踏まえ地方公共団体が施行する下水道管路の復旧に向けた改築及び調査・緊急改築に要する経費を計上。

予備費使用額	615億円
--------	-------

○令和6年12月以降の大雪に伴う道路の除雪	471億円
-----------------------	-------


○埼玉県八潮市での道路陥没事故を踏まえた対応	144億円
------------------------	-------

国土交通省関係予備費使用概要②

※ は公共事業関係費である。

○令和6年12月以降の大雪に伴う道路の除雪

(1) 道路除雪事業


 国費 47,064 百万円

今冬は、年末年始や2月上旬からの大雪などにより、各地で、平年を大幅に上回る積雪を記録しており、地域の安全・安心な暮らしや、経済活動を支える道路交通を確保するために、道路除雪を実施。

※予備費のほかに、当初予算を活用した追加配分もあり、これを含めた地方公共団体向けの追加配分合計は国費557億円である（詳細は別紙（道路局発表資料）を参照。）。


○埼玉県八潮市での道路陥没事故を踏まえた対応

(1) 緊急下水道管路改築事業

 国費 4,500 百万円

令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故について、埼玉県による下水道管路の早期復旧に向けた改築を実施。

(2) 大規模下水道管路特別重点調査等事業

 国費 9,891 百万円

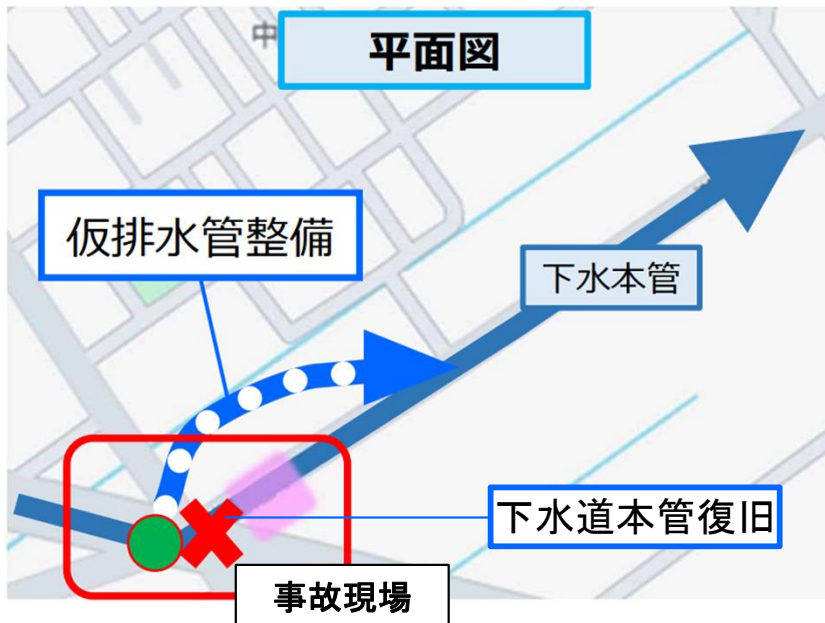
埼玉県八潮市における道路陥没事故と同様の事故を未然に防ぎ、国民の安心・安全が得られるよう、全国で、大口径かつ古い下水道管路を対象とした調査を行うとともに、調査結果を踏まえ緊急改築を実施。

○埼玉県八潮市での道路陥没事故を踏まえた対応 (1)緊急下水道管路改築事業

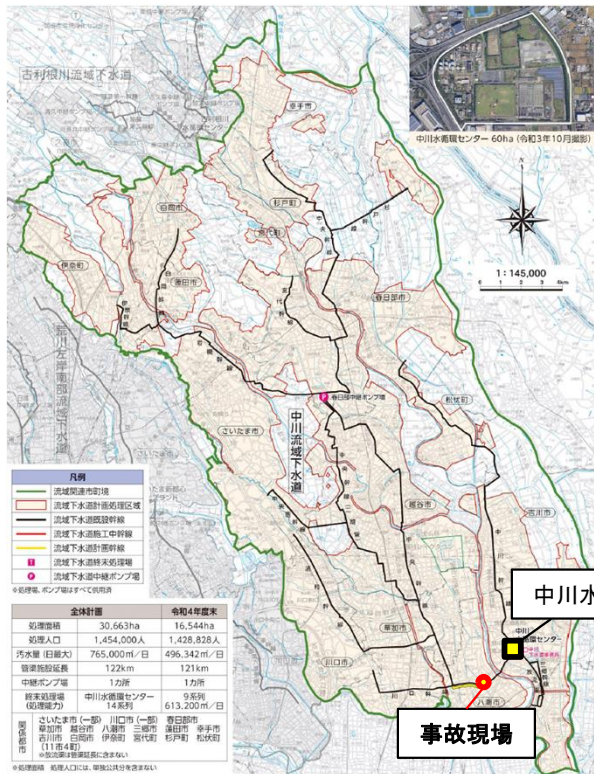
令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故について、埼玉県による下水道管路の早期復旧に向けた改築を実施。

実施内容

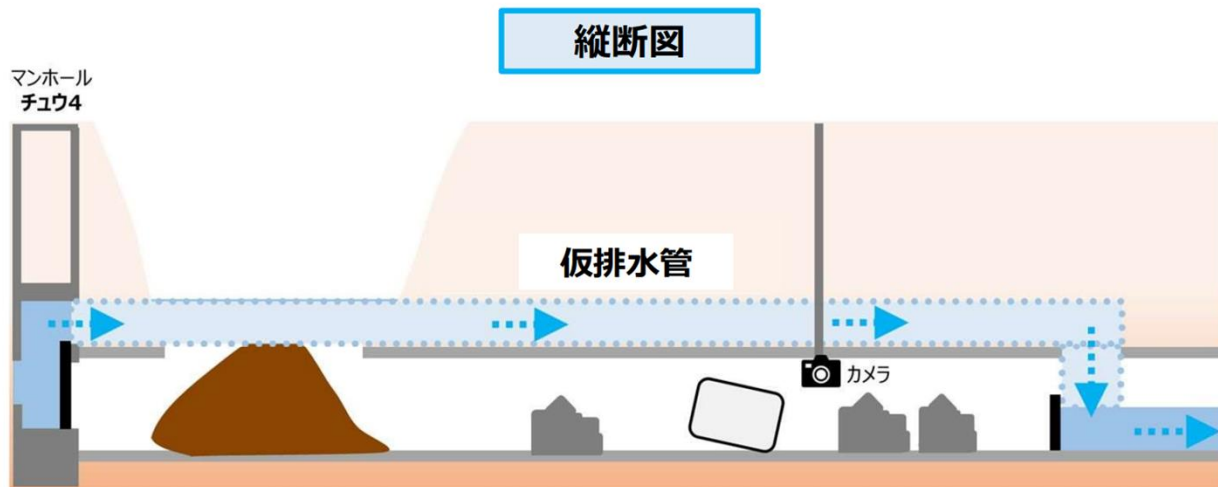
- 埼玉県八潮市における下水道管路の復旧として、
- ・仮排水管の整備
 - ・破損した下水道本管の復旧工事 等を実施



現場状況 (3月17日撮影)



事故現場位置図



出典：第3回埼玉県災害対策本部会議(令和7年3月3日)(平面図については国土交通省において一部加筆)

(2)大規模下水道管路特別重点調査等事業

八潮市における道路陥没事故と同様の事故を未然に防ぎ、国民の安心・安全が得られるよう、全国で、大口径かつ古い下水道管路を対象とした調査を行うとともに、調査結果を踏まえ緊急改築を実施。

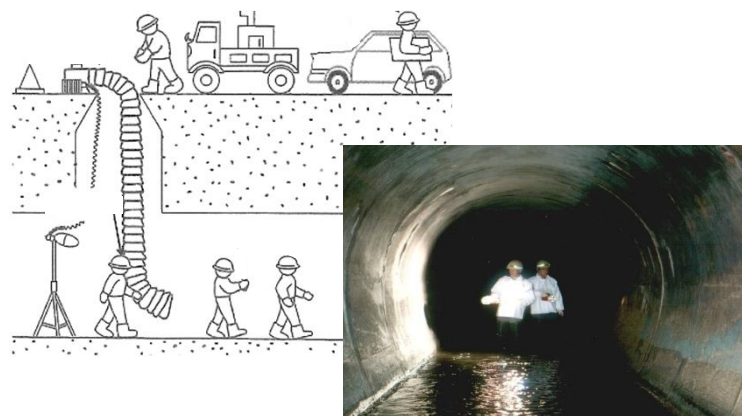
実施内容

平成6年度以前に設置された口径2m以上の下水道管路について、

- 潜行目視調査、テレビカメラによる調査に加え、地盤空洞調査など、新たな技術的方法を積極的に導入し、調査を実施
- 調査の結果を踏まえ、緊急改築を実施

調査の実施イメージ

潜行目視調査



調査員が管渠に入り、劣化状況を調査

テレビカメラによる調査



調査員が管渠内に入ることが不可能な場合に自走式カメラやドローン等を用いて、劣化状況を調査

緊急的な改築の実施イメージ

例) 更生工法



特殊な部材により既設管渠の内面を被覆